allcinema

危険な関係（1959）

LES LIAISONS DANGEREUSES 1960

メディア	映画
ジャンル	ドラマ
製作国	フランス
色彩	B&W
時間	106分
初公開日	1961/05/01
公開情報	新外映
リバイバル	1995/12［ヘラルド］ 2018/03/24［セテラ・インターナショナル］（４Ｋデジタル・リマスター版）

【解説】

後にスティーヴン・フリアーズやミロシュ・フォアマンによっても映画にされる、ド・ラクロの古典的恋愛小説『ヴァルモン』の翻案映画化で、舞台は現代のパリに置き換えられている。外交官ヴァルモン（これが遺作となったＧ・フィリップ）と妻ジュリエット（Ｊ・モロー）は互いに愛し合いながらも、他に恋人を作るのを是とし、その秘め事の報告をしあい、後始末を共にするのを楽しんでいた。妻にはジェリーという愛人がいたが、彼が婚約したことに憤り、夫にその相手セシルの純潔を奪わせた。が、彼女は彼女でダンスニ（Ｊ＝Ｌ・トランティニャン）というもう一人の恋人がいた。ヴァルモンは火遊びの相手のつもりのマリアンヌ夫人に本気で惚れてしまう。これを知った妻はダンスニを情夫にしようとするが、すべてのカラクリを知った彼はヴァルモンを殺す。残された妻は証拠の手紙を焼き捨てようとして顔に火傷を負ってしまう……。当初インモラルな主題ゆえに輸出を禁じられたというが、今観ればそれほどでもなく、映画としても弱い。

【クレジット】

監督	ロジェ・ヴァディム	Roger Vadim
原作	ピエール・コデルロス・ド・ラクロ	Pierre Choderlos de Laclos
脚本	ロジェ・ヴァディム	Roger Vadim
	ロジェ・ヴァイヤン	Roger Vailland
撮影	マルセル・グリニヨン	Marcel Grignon
音楽	セロニアス・モンク	Thelonious Monk
出演	ジャンヌ・モロー	Jeanne Moreau
	ジェラール・フィリップ	Gerard Philipe
	ジャンヌ・ヴァレリー	Jeanne Valerie
	アネット・ヴァディム	Annette Vadim
	ジャン＝ルイ・トランティニャン	Jean-Louis Trintignant
	ニコラ・ヴォーゲル	Nicolas Vogel
	アレクサンドラ・スチュワルト	Alexandra Stewart

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.